

おおとり

- ◇平成二十三年初詣風景①
- ◇真実の世界のお話(35)②
- ◇古事記を読む(13)②、③
- ◇お知らせ④

◆◆ 浅草 鷲神社々務所



平成23年 辛卯正月

冬 2011
平成23年
No.50

鳥居くぐって開運招福・節分祭・2/3(木) 大祓・6/30(木)

労働と働く（2）

葉室 頼昭

神様は神の世界・真実の世界を見させるために人間をお造りになられました。それでは神様の御意志に従い、神の世界を見るにはどうしたら良いか。それには感謝しかありません。感謝すると神の波長と一体になり、そこに神の世界が現れるのです。これはテレビと全く同じ仕組みであり、また逆に考えれば、テレビは人間が発明した機械ではなく、宇宙の真実の仕組みを実体化しているもの考えることが出来るのです。

この地球上では、電波は放送局を通じ世界中に送られています。これを画像に現そうとするためにテレビ受信機から放送局と同じ波長の電波を少し出し、これに放送局の電波が同調して画面に映像が現れてくるという仕組みになっています。ですから、神様と同じ波動を少し出せば、神の世界が眼前に現れてくるということなのです。この神の波動こそ、無私の感謝なのです。理屈を考えない感謝の心をもてたら神の世界が現れてきます。難しいことでもなんでも無い。感謝すればいい。理屈のない無私の感謝。これができたらすぐにでも神様に会える。簡単なこと。だから神道はシンプルであり、ややこしい教理経典がないのです。「ありがとうございます」これでいいのです。けれどこの「ありがとうございます」がなかなか言えない。「ありがとうございます」というと「何に？」となり、更に理屈がくっついてきます。このような理屈の世界に神様はいらっしゃいません。「何に」じゃありません。ただ「ありがとうございます。」と、これが言えたら神の世界が見えてくるのです。しかし、今はほとんどの人は理屈でマインドコントロールされています。「お金が儲かったから」「いい女とめぐり合った

古事記を読む（13）

須佐之男命(スサノ)は葦原色許男(アシハラシコ・オホコシ)の別名)を連れて家に入り、広くて大きな部屋に呼び入れて、自分の頭の虱を取らせました。その頭を見ると、大きなムカデがいたので、妻の須勢理比賣(スセヒメ)は棕の木の実と赤土を取って、夫に授けました。葦原色許男はその実を喰い破り、赤土を含んで唾を吐き出したならば、須佐



から」と。この「何々だから」では駄目なのです。理屈がないとありがとうが言えないようマインドコントロールされているのです。こんな取り引きのような理屈の感謝を、一度とにかく捨ててください。

ありがとうという言葉、これは一体どういう言葉なのでしょうか。きっとすごくいい日本語なのでしょう。これを「有り難し」と書くから意味がわからなくなるので、これを「ア・リ・ガ・ト・ウ」と一字一字心で、本当に感謝の心で相手に話す(放す)と「ありがとう」という音になるんだと私は思います。そうすると神の世界が現れる。理屈は分かっているが、これがなかなかできない。

ながながと書いてきた文章、理屈はまったく必要ない。けれど言わないと分かって貰えない。これも方便だと思って事あるごとにお話しています。今の時代、神道は言挙げせずなんて言っていたのでは駄目です。言挙げしなければならぬ世の中なのです。ほんとうになさけないことです。

之男命はムカデを喰い破って吐き出すと、心優しい奴だと思って眠りました。

それを見て、須佐之男命の髪を取って部屋の垂木に結びつけて、巨石をこの部屋の戸を塞ぐように置き、須勢理比賣を背負い、須佐之男命の太刀と弓矢と天の琴を持って逃げたが、その時に琴が樹に触れて、大地に鳴り響きました。須佐之男命はその音に驚いて、その部屋を引き倒してしま

われましたが、垂木に縛られた髪をとかず間に遠くへ逃げてしまいました。

黄泉比良坂(ヨミツリノカ)まで追いついて、はるか遠くに見える葦原色許男を呼んで「お前が持っている太刀と弓矢で兄弟の神々を坂の先に追い、河の瀬に追い払って、お前は大国主神(オホクニノカミ)となり、また宇都志国玉神(ウツシノタマノカミ)となって、わたしの娘の須勢理比賣を正妻として、宇賀の山の麓に、太い柱を立てて、そこに天高く千木をあげて、立派な御殿を立てて、そこに居なさい。この野郎」とおっしゃりました。

こうして大国主神は、須佐之男命の太刀と弓矢で、兄弟の神々を追い払い、多くの坂では待ち伏せて、多くの川の瀬で捕まえて、初めて国をつくり、お治めになりました。

ところで八十比賣(ヤヒメ)は、先の約束のとおり大国主神と結婚なさいました。八十比賣は自分の産んだ子連れてきましたが、正妻の須勢理比賣を恐れて、その子は木のまたに差し込んだままにして、因幡の国にお帰りになりました。それでその子を木俣の神といい、また御井の神といいます。



特選 一名 金三万円
 豊島区 江尻 竜子様
 「福よ来い！」

◆ **第六回鷲フोटコンテスト**
結果発表
 今年で六回目を迎えた鷲フोटコンテストの入賞者が決定致しました。今年合計で、約百五十作品の応募があり、審査にも熱が入りました。多くの方にご応募頂きました事を改めて感謝申し上げますと共に、本年フोटコンテストにも皆様方のご参加をお待ちしております。



開運願って

入選 三名 金一万円
 八潮市 坂入 順久様



鷲神社賞 一名 金三万円
 文京区 楳沢 厚子様
 「賑わう西の市」

佳作 八名
 文京区 小池 記念品
 中野区 宮崎 宏和様
 墨田区 村山 純一様
 文京区 関根 勝治様
 柏市 宮崎 健司様
 北区 石塚 郁朗様
 葛飾区 小池 匡満様
 江東区 鈴木 信行様



福を求めて人の波

品川区 町田 博司様



くま手を持った福娘

逗子市 田中 和夫様

◆平成二十二年西の市

平成二十二年西の市は、二の西まで斎行されました。両日ともに天気・曜日にも恵まれ、あわせて百万人の参拝者で賑わいました。



なでおかめのお披露目

猶、平成二十三年の西の市は、十一月二日・十四日・二十六日の三の西まで。

◆西の市クイズ当選者発表

第二十二回西の市クイズの抽選会は、当社の新嘗祭にあたる十二月最初の西の日、平成二十二年十二月一日に鷲神社社務所にて、役員・世話人の手により行われ、当選者が決定いたしました。

賞品

◆現金五万円

船橋市 外立 健治様
大田区 東久 仁代様

◆浅草ビューホテル宿泊券

江東区 中崎 翔子様

◆浅草ビューホテル食事券

葛飾区 白杵 あずさ様
江東区 沖高 紳五様
荒川区 門井 昭子様
足立区 渡辺 晴美様
武蔵野市 持田 浩嗣様
墨田区 吉田 春美様

◆新春七草粥

餅つき大会開催

平成二十三年一月七日、鷲神社境内に於いて、奉賛青年会主催による餅つき大会が開催されました。当日は快晴に恵まれ、餅つき、大道芸、フリーマーケット、縁日が開催され、併せて七草粥が振る舞われる等、多くの方々で賑わいました。



餅つき風景

おとり節分祭 年男・年女募集

2月3日(木)午後3時・午後4時 2回斎行

参加費

¥7,000(祈禱札・弁当他)

申込先

鷲神社社務所まで(1月28日締切)

☎ 03-3876-1515

おとりさま

検索

詳しくはこちらまで www.otorisama.or.jp

平成二十三年の厄年(数え年)

厄年というのは、現代の生活にもあてはまる人生の転換期であり、肉体的にも精神的にも調子をくずしやすい年齢といえます。厄年には神社に詣でて厄払いのご祈願を致しましょう。(数え年とは、満年齢に誕生日前は二歳、誕生日後には一歳を加えた歳です)

	前厄	本厄	後厄		前厄	本厄	後厄
女の厄年	18才	19才	20才	男の厄年	24才	25才	26才
	平成6年生	平成5年生	平成4年生		昭和63年生	昭和62年生	昭和61年生
	いのしし	とり	さる		たつ	う(うさぎ)	とら
	32才	33才	34才		41才	42才	43才
	昭和55年生	昭和54年生	昭和53年生		昭和46年生	昭和45年生	昭和44年生
	さる	ひつじ	うま		いのしし	いぬ	とり
	36才	37才	38才		60才	61才	62才
	昭和51年生	昭和50年生	昭和49年生		昭和27年生	昭和26年生	昭和25年生
たつ	う(うさぎ)	とら	たつ	う(うさぎ)	とら		